

地域の元気創造プラン プロジェクト2

「機能連携広域経営型」プロジェクトについて

平成25年6月21日

1 背景

「人口減少社会」と「少子高齢社会」の到来

「高流動性社会」への転換が必要

「高流動性」こそが「地域の元気」を創造

- ・ ひとの流れ
- ・ モノの流れ
- ・ お金の流れ
- ・ エネルギーの流れ
- ・ 情報の流れ

国土の均衡ある発展



**個性を活かし自立した
「計画的圏域」City Regionの構築へ**

2 多様な City Region の構築による「地域の元気」の創造

地方圏から三大都市圏への人口流出の歯止め
地方圏への人口流入の創出のみならず、
地域に暮らしつづけるための条件整備

機能連携広域経営型モデルとして
定住自立圏の強化

多様なCity Regionが個性を競い合うことにより、
「地域の元気」を創造

市町村の枠を超えた社会的ネットワークを
City Region（計画的圏域）として設定

- (1) 範囲の設定（ひと、モノ、お金、エネルギー、情報の流れ）
- (2) 意思決定機構の設定（産・学・金・官・民のラウンドテーブルの活用等）
- (3) サービスの担い手と役割分担の設定（行政、民間企業、NPO、市民等）

3 スケジュール

平成25年度

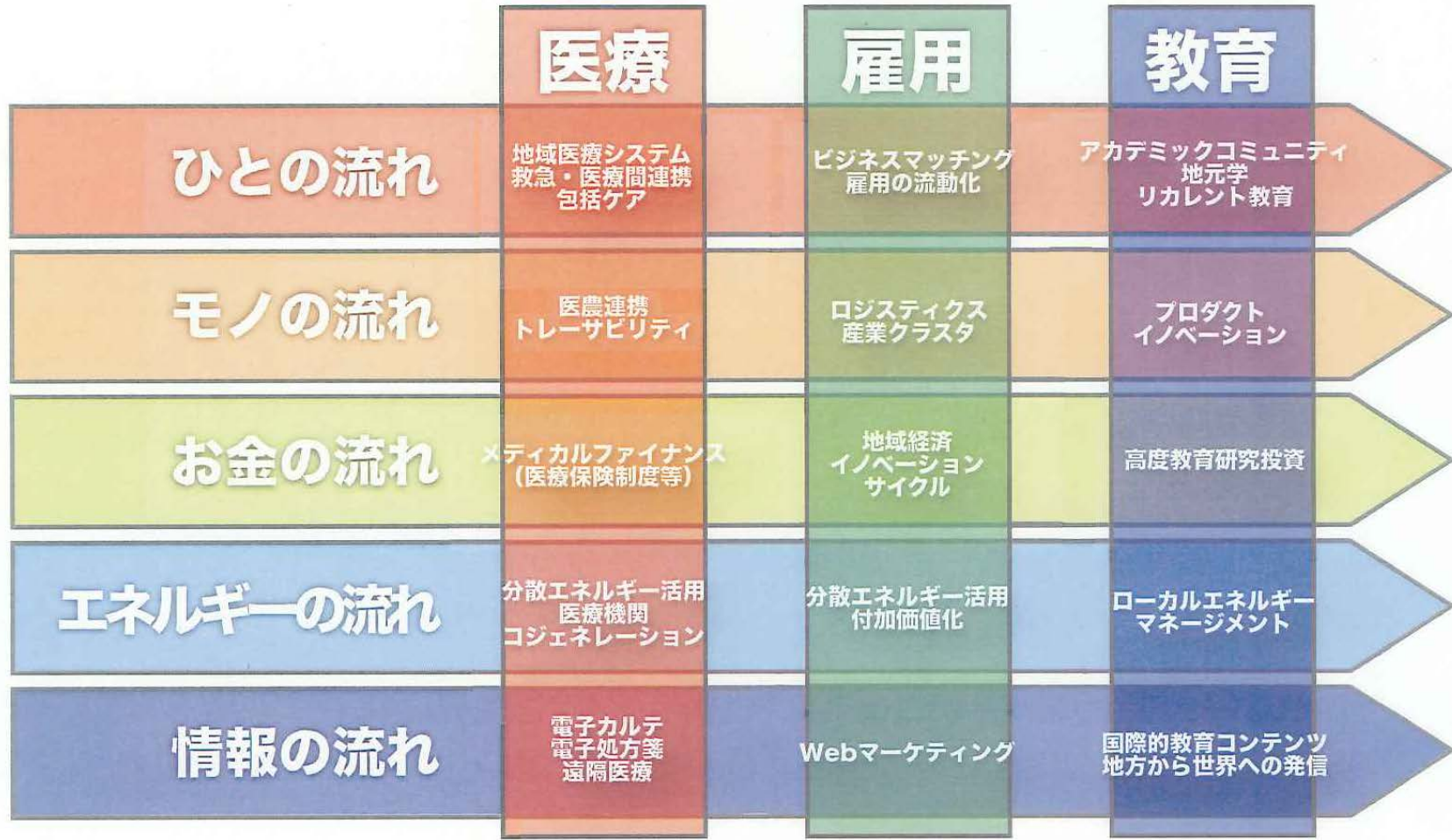
- **プロジェクトモデルの調査・検討**
 - ・ **候補地に必要な要件の調査**
 - ・ **プロジェクトモデルの構築に向けた調査研究**

平成26年度

- **対象圏域の設定とプラン策定**
 - ・ **モデル地域の選定**
 - ・ **プロジェクト推進体制の構築とプランの策定**
 - ・ **人、モノ、金等の流れの強化のためのインフラの計画的整備**

(参考) 圏域の新たな価値創造をめざす社会基盤の枠組み

QOLを支える5つの流れ



持続可能な居住のための「三種の神器」